



# 健康だより 3月号

令和5年2月28日発行  
かんのん町保育園

## 2月の感染症情報

感染性胃腸炎 2名

3月になると、少しずつ寒さも和らいでくることでしょう。しかし、この時期は朝晩だけでなく、日中も突然真冬の寒さが戻ってくることもあるので、上着を準備する等して衣服の調整をしていきましょう。

### 3月3日は耳の日です

耳の健康のために気を付けておきたいこと



- 普段からテレビの音や声の大きさに気を付け、大きな音で耳に負担をかけない。
- 鼻をかむときは片方ずつ交互にかむ。
- 「音が聞こえにくい」「耳が痛い」など、気になる事があれば耳鼻科に相談をしましょう。

### 花粉症について

最近、子どもの花粉症が増えています。緑が豊かなのは、戸外遊びにとっても良い環境ではありますが、花粉症があると辛いですね。目の充血やかゆみ、鼻水などの症状が見られたら、耳鼻科の受診をおすすめします。鼻詰まりで眠れず、睡眠不足、目がかゆくて集中できない等、日常生活に支障が出る場合もあります。症状が現れた際には早めの対応をしていきましょう。

### 今年度の事故報告

今年度2月までの受診の必要があった事故は、27件でした。

事故内容としては、バランスを崩して転倒した際に、頭部や歯、歯茎を打撲する怪我がありました。また、友達との関わりの中でのひっかきや噛み傷、園内での肘内障がありました。受診したケースの事故報告は川崎市にもしています。また、事故検証と改善策を導き出し、再発防止に努めています。

転倒が原因となっていたことについては、日々の保育の中で遊び方の確認をしたり、全身を動かす遊びを意識的に取り入れ、子ども達の体作りに取り組みました。子ども同士での関わりの中でも怪我に繋がらないよう、関わり方を子ども達と考えたり、保育士の見守り方も適切に出来るようこれからも取り組んでいきます。

### 自転車の転倒事故防止について

電動自転車での通園の方が多くと思います。アシストが付いている分総重量が大きくなるため、転倒事故に気を付けましょう。

- ヘルメットは必ず、子どもを自転車に乗せる前に装着しましょう。
- 前の座席に子どもを乗せたまま、後ろの座席の子どもなどの乗せ下ろしをすることは大変危険です。

### 自転車に子供を乗せる時のポイント



→子どもを前の座席に乗せた状態はとても不安定です。前の座席での怪我は、後ろの座席の約6倍になります。

#### 子どもを1人乗せる場合

→1人乗せの場合は、「後ろ乗せタイプ」を選ぶことでハンドルのふらつきが小さくなるため望ましいです。

#### 子どもを2人乗せる場合

→2人乗せの場合は、「前乗せタイプ」を選び、前後に乗せる事が望ましいです。  
→前乗せタイプの自転車の多くは前かががついていないため、荷物の乗せ方にも注意が必要です。

#### ブレーキの点検、保守

→幼児乗せ自転車では、前後両方のブレーキが重要です。総重量が大きく、停止する際には、前後両方のブレーキが確実に効かないと目標位置に止まらず、前方の物に衝突する恐れがあります。

※わずかな時間でも、お子さんに乗せたまま自転車から離れる事のないようにしましょう。

